

科目名		医療安全学研究方法論			担当教員名	別所 一彦、和佐 勝史、石松 一真、清水 史恵、榊原 修平、石原 啓之
該当DP	2	単位数	1単位	必修	配当年次	1年次・第1セメスター(前半)
曜日・時限		金曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要		昨今、医療の多くの領域で、様々なガイドラインや指針などが作成され、これらに基づくEvidence-Based Medicine(EBM)の実践は、医療の質の向上や、医療安全に繋がっている。医療安全学の研究は広範であり、また職種によっても方法論は大きく異なる。本講義は、医療安全領域における研究方法論について、医療の質・安全の観点から、オムニバス方式で概説する。				
到達目標		1) 医療安全学研究に必要な基本的知識を理解し、説明できる。 2) 研究計画と修士論文の作成の基礎となる考え方を理解し、説明できる。 3) 研究倫理の重要性を認識し、説明できる。				
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1	4/11	医療安全学研究とは(和佐・別所)	本研究科が主導する医療安全学の基本理念を紹介するとともに、わが国の医療の質・安全に関する研究領域や動向、これに関連する研究方法論について概説する。			
2	4/18	研究倫理と研究遂行上の課題(別所)	医療安全学領域の研究に必要な研究倫理の考え方について講義する。修士論文研究遂行上の倫理的課題について具体的に説明し、討議により理解を深める。 [ディスカッション]			○
3	4/25	医療安全研究の枠組み(石松)	医療安全の研究の枠組みを概説する。研究方法をはじめ、研究計画書の書き方についても説明する。その他、受講生とのディスカッションを交えながら、研究への取り組み方について考える機会を持つ。[ディスカッション]			○
4	5/9	リサーチクエスチョンと研究デザイン(石松)	臨床実践の中で生じた疑問を文献検討を経て科学的に検証可能なリサーチクエスチョン(RQ)としてモデル化し、研究デザインを選択する方法を概説する。また取り組んでみたい研究課題のRQや研究デザインを具体的に考える機会を持つ。 [ディスカッション]			○
5	5/16	医療安全への量的アプローチ(石原)	医療安全に関わる研究の具体的な例を紹介しながら、量的研究の組み立て方や考え方を学ぶ。[ディスカッション]			○
6	5/23	医療安全への質的アプローチ(清水)	ひとの認識や経験などに着眼し現象を記述する研究方法である質的研究について概説する。医療安全に関する質的研究の文献をもとに、質的研究の特徴を学ぶ。 [ディスカッション]			○
7	5/30	科学論文とは(榊原)	科学論文は、研究者が研究成果を公表するための専門文書であり、その構成には一定の規則がある。これを理解することで論文の内容を効率的に理解することが可能となる。ここでは、研究計画書や修士論文作成へ向けた基礎知識として、科学論文の構成や論理展開について学び、アカデミックライティングの基礎を習得する。			
8	6/6	科学論文の書き方(榊原)	理論構成を考えた文章の組み立ては、修士論文などの科学論文の執筆に不可欠な要素である。伝わりやすい文章にするだけでなく、論文作成に必要な知識と技術を学ぶ。[ディスカッション]			○
キーワード		医療安全学研究、量的・質的研究、リサーチクエスチョン、研究デザイン、研究倫理			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	特になし				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート(80%)、②授業・討議への参加(20%) [①研究方法を理解し、研究計画を立案するための基礎的知識の修得を評価します。②ディスカッションへの積極性]				
授業時間外に必要な学修		授業内容を理解したうえで、修士論文のための研究計画を立案できるように、しっかり復習してください。				
学生へのメッセージ		積極的に授業に参加してください。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。